

平成28年度

# 学校関係者評価報告書

平成29年5月31日

学校法人 向洋学園

宮崎ブライダル&医療専門学校

## 平成28年度 学校法人 向洋学園 学校関係者評価報告書

学校法人向洋学園は、当学園の教育理念、教育目的等をはじめとする学校教育及び学校運営について自己評価を実施し、「平成28年度 学校自己評価報告書」を取りまとめ、宮崎マルチメディア専門学校及び宮崎ブライダル&医療専門学校のホームページに公表致しました。

また、平成24年度に学校関係者委員会を設置し、当学園に関連する企業・業界の方々や教育関係者の皆様より当学園の学校教育及び学校運営に対し、幅広くかつ的確なご意見、ご指導を賜りました。頂戴致しましたご意見等につきましては「平成28年度 学校関係者評価報告書」としてご報告させていただきます。

今後は、委員の皆様から頂戴致しました貴重なご意見やご指摘を真摯に受け止め、大いなる気づきとし、当学園のより社会のニーズに応えられる学生指導と教育の質の保証及び向上を目指し、教職員一同邁進して参る所存でございます。

関係者の皆様には、今後とも尚一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年5月31日  
学校法人 向洋学園  
理事長 井手脇 万詔

## 1. 学校理念

「全ての学生の夢を受けとめ、高い技術力と、豊かな人間性を備えたプロフェッショナルを育成し、社会に貢献する。」

## 2. 宮崎ブライダル&医療専門学校校訓

誠 実 な 人  
努 力 す る 人  
思 い や り の あ る 人

## 3. 学校の教育目標

1. 学校の夢を具現化するため、教育に携わる教職員一同は常に精進に努め、また、学校はその為の研修等を計画的に行う。
2. 高い技術力を習得させるため、関連業界との連携を深めながら、定期的に技術力の確認を行う教育プログラムを実践する。
3. プロフェッショナルとしての心を育成する為、キャリア教育の充実を図る。
4. 豊かな人間性の構築を目指し、校外での体験、教育の場を設ける。

## 4. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

1. 学校の理念、校訓、教育目標が全職員及び学生に認知され、日常の教育に反映させる方策の実施。
2. 学生の安全な学校生活を保証するための行動目標の徹底。
3. 現代社会のニーズに即したカリキュラム編成と、その実施。

## 5. 学校関係者評価委員一覧表

|   | 評 価 委 員 | 所 属                 | 役 職 名   |
|---|---------|---------------------|---------|
| 1 | 赤塚 晴彦   | 公益社団法人 全国経理教育協会     | 相談役     |
| 2 | 池間 健治   | 学校法人旭進学園 宮崎第一中学高等学校 | 校長      |
| 3 | 木下 昌徳   | 株式会社 ニューウェルシティ宮崎    | 取締役総支配人 |
| 4 | 長友 愛    | 有限会社 錦屋衣装店          | 代表取締役社長 |
| 5 | 野中 和成   | 医療法人同心会 古賀駅前クリニック   | 事務長     |

## 6. 討議・意見交換について

|   |  |   |
|---|--|---|
| 1 | 大項目  | 教育理念、教育目的、人材育成像   |
|   | 中項目  | 教育理念、教育目的、人材育成像   |
|   | ◆ 時代の変化や業界のニーズに適した人材像を把握し、それらを反映した人材育成像が必要であり、その為に、業界との連携をさらに密にしていきたい。   |   |
| 2 | 大項目  | 学校運営  |
|   | 中項目  | 諸規定の制定、学則・細則・内規等の整備、防犯対策、個人情報の保護、意思決定機関                                   |
|   | ◆ 学校の意思決定の明確化を図るため、命令・報告の系統を再考し、効率的に仕事を進められる環境整備に努めていきたい。  |   |
| 3 | 大項目  | 教育活動  |
|   | 中項目  | 理念・目的・人材像を反映したカリキュラム、カリキュラムの定期的見直し、キャリア教育、授業アンケート、授業計画、成績評価、単位認定、資格試験、教職員 |
|   | <p>◆ カリキュラムの定期的な見直しについては、学生の現状を正確につかみ、個々の能力に応じた指導を念頭に置いて進めるべき。「学び直し」は、既卒生のみ当てはまる概念ではない。基礎学力がD3（一）に該当する学生は、早めの発見と対応、日本語理解の能力の再構築も重要である。</p> <p>◆ キャリア教育に関しては、職員のみではなく、卒業生や先輩の活用が望ましい。</p> <p>◆ キャリア教育の一環として、学科の特性に応じた業界の専門職で活躍されている方の講演の機会を増やし、目標とする業界の将来性や可能性に気付かせる。</p> |   |
| 4 | 大項目  | 学修成果  |
|   | 中項目  | 就職率・推移、資格取得率・推移、退学率の低減  |
|   | ◆ 特になし   |   |
| 5 | 大項目  | 学生支援  |
|   | 中項目  | 進路・就職への支援、学生相談への支援、学生への経済的支援、保護者との適切な連携、卒業生への支援体制                         |
|   | ◆ 企業からの求人は、在校生向けだけでなく、卒業生に対しても増加している。その為、卒業生に向けての求人情報を広く提供し、有効に活用していく。   |   |

|    |   |                              |
|----|---|------------------------------|
| 6  | 大項目   | 教育環境                         |
|    | 中項目   | 教育施設・設備、学内外の実習・インターンシップ、危機管理 |
|    | ◆ 特になし  |                              |
| 7  | 大項目   | 学生募集                         |
|    | 中項目   | 学生募集活動の適正性、教育成果の伝達、入学選考、学納金  |
|    | ◆ 即業実践専門課程認定学科を設置した学校であることをより広く理解していただきながら学生募集を展開するため、各種情報の提供を校内外に向けて発信することが肝要であろう。                   |                              |
| 8  | 大項目   | 社会貢献、地域貢献                    |
|    | 中項目   | 社会貢献、公開授業、出張講座、ボランティア活動      |
|    | ◆ 社会・地域貢献できるプログラム提案を今後も積極的に行ってほしい。  |                              |
| 9  | 大項目   | 財務                           |
|    | 中項目   | 財務状況、監査、財務状況の情報公開            |
|    | ◆ 財務については、的確な会計監査の実施、理事会における会計報告とその承認も適正に行われており、財務情報の公開の体制も整っている。今後は、職員に対しても事務長を中心に、より丁寧に説明する機会を設けたい。 |                              |
| 10 | 大項目   | 法令遵守の状況                      |
|    | 中項目   | 法令遵守の状況、適切な学校評価への取り組み        |
|    | ◆ 今後も問題なく評価されるように取り組んでいただきたい。   |                              |

以上